



編集発行

広島県三次市吉舎町
広島県日彰館同窓会

印刷

佐々木印刷株式会社



旧正門

会長就任挨拶文



平成28年4月24日開催されました日彰館本部同窓会総会おきまして、塚本和順会長の後任として会長に就任いたしました。27年7月任期なかばで突然ご逝去された会長の任を会長代行として、約

9カ月勤めさせていただきその任の大きさに戸惑いも感じながら今日を迎えています。たいへん微力ではございますが一生懸命務めさせていただきます。

全国におられる同窓会会員の皆様にご挨拶とご協力をお願いを申し上げます。各支部の会員、役員の皆様には本部活動に大変ご協力いただき、会員の親睦にもご努力いただいている事に感謝申し上げます次第です。

最近の同窓会本部の状況を申し上げます。本来

同窓会の趣旨は会員間の親睦と情報交換等々でありましたが、田舎における社会情勢の急激変化、特に少子化が進み地域だけでは高校の定員をまかなうことが出来なくなっております。

約15年位前から日彰館高校支援を少しずつ増やしてきました。先輩幹部の皆様や学校当局のお力をいただき、現在、高校生は安定し元気に頑張っています。

多様化、グローバル化が急激に進む中、[選んでいただける日彰館]を目指して何か特化(科)したものを構築しなければいけないと思います。具体的なものはまだありませんが、学校当局の協力をいただきながら支援を進めたいと思います。重ねて全国の会員様のご協力をお願い申し上げます。

広島県日彰館同窓会

会長 春 田 佳 伯

館祖祭祭文

さわやかな若葉の薫りたよう桜谷 本日、日彰館同窓会会員相集い、ここ善逝寺本堂において館祖のご遺族をはじめご来賓の方々のご列席を仰ぎ、平成28年度館祖祭を執り行うに当たり、館祖奥愛次郎先生をはじめ歴代の諸先生のご霊前に謹んで日彰館の現状をご報告申し上げます。

近年の学校周辺の少子化、人口減少はとても激しいものがあり、吉舎地区この春の小学校入学者数は吉舎小17名、安田小1名、八幡小3名、の計21名です。日彰館高校におかれましては、魅力ある学校づくり、学びやすく学力の付く学習等など、また各中学校への情報発信等様々取り組みをいただいております。同窓会としても従来積み重ねてきたものに加え、より具体性のあるものに転換しなければと思います。人口問題も含め今こそ行政当局、吉舎支所、同窓会、地域住民の皆様のご協力をお願いするところでございます。

そのような中、日高生はのびのびと、とても元気に活躍しております。進路の状況は公立大学をはじめとして35名が大学、短大に、29名が専門学校に、就職にあっては公務員に8名合格しております。クラブ活動におきましては書道部は全日本書道展にて特選、入選3名をはじめとして多くの大会で上位獲得し全国総合文化祭に出場しました。美術部美術班はデザイン大賞、奨励賞、入選3名、写真部は全国大会出場推薦を

いただいております。

野球部は97回全国高校野球選手権大会県予選3回戦まで出場、剣道部は中国高校剣道県大会出場等大きな成果を残しています。今後更なる活躍を期待するところです。

そして今、日彰館を志望する遠隔地からの生徒の対応に三次市当局、吉舎支所、日彰館高校、クラブ保護者会、社会福祉法人ゆうしゃいん様のご協力を得て、宿舎を構成し、この4月より3名の生徒を得て運用を開始しております。生徒増の基になればと思っております。

永年同窓会の発展にご尽力いただきました塚本会長が昨年7月にご逝去されました。突然の訃報に驚き、確かな意思伝達もいただかず、とても残念で寂しい思いをしております。長期のご労苦に感謝し衷心より改めてご冥福をお祈り申し上げます。

館祖の建学の精神そして遺訓、その志に答えるべく同窓会会員は先生方のご協力のもとに更なる発展を目指して努力してまいります。

ご照覧と一層のご加護を賜らんことをお願い申し上げます。

平成28年4月24日

広島県日彰館同窓会 副会長
会長代行 春 田 佳 伯



平成28年度 広島県日彰館同窓会 本部総会記念写真

平成28年度 館祖祭並びに本部総会報告

館祖祭

- 会場 善逝寺本堂
 時間 9:30～10:10
 次第 1. 開式の辞
 2. 黙祷
 3. 読経
 4. 祭文朗読
 (会長代行 春田佳伯 様)
 5. 焼香
 (ご遺族・ご来賓・各支部長
 ～他は回し焼香)
 6. ご遺族・ご来賓紹介
 7. 館祖祭の歌
 8. 閉式の辞

同窓会総会

- 会場 吉舎生涯学習センター
 時間 10:30～11:30
 次第 1. 開会の辞
 2. 黙祷
 3. 同窓会会長挨拶
 (会長代行 春田佳伯 様)
 4. 祝辞(広島県議会議員
 下森宏昭 様)

5. ご遺族・ご来賓紹介
 6. 会務報告並びに諸報告
 7. 母校現況報告(日彰館高等学校長 吉田富志雄 様)
 8. 議事
 ・第1号議案
 平成27年度会計決算について承認を求める件
 (監査報告)
 ・第2号議案
 平成28年度予算(案)について承認を求める件
 ・第3号議案
 本部役員改選(案)について承認を求める件
 ・承認事項
 創立120周年記念事業について承認を求める件
 9. 閉会の辞

【記念写真撮影】

吉舎生涯学習センター前 中庭
 時間 11:30～11:45

本部同窓会懇親会

- 会場 吉舎生涯学習センター
 時間 12:00～13:30
 司会 昭和59年3月卒業生代表
 (新見文章 早船律子)
 次第 母校吹奏楽部演奏(15分程度)
 1. 開会の言葉
 2. 挨拶(同窓会副会長
 下崎一郎 様)
 3. 来賓祝辞(三次市議会議員
 桑田典章 様)
 4. 乾杯(ご発声 東京馬洗会
 代表 杭迫重臣 様)
 5. 懇親(各支部代表によるスピーチ 2分程度)
 *カンパ贈呈(当番幹事代表から学校長へ)
 6. 当番幹事学年引き継ぎ
 (昭和59年卒業生代表から
 昭和60年卒業代表へ)
 7. 校歌斉唱
 8. 万歳唱和(ご発声 同窓会
 顧問 湯免龍夫 様)
 9. 閉会の言葉

平成27年度会務報告

- 4月4日 館祖祭・同窓会総会予告看板掲示(毘沙門橋付近、上下分かれ)
 館祖祭次期当番幹事会(昭和58年卒)～吉舎生涯学習センター～
 7日 第47回入学式(日彰館高校体育館)
 9日 新入生69名記念館来館
 10日 離任式
 会計監査会(奥記念館)
 歓送迎会(三次グランドホテル)
 11日 館祖祭次期当番幹事会(昭和58年卒)～奥記念館～
 18日 館祖祭次期当番幹事会(昭和58年卒)～神杉コミュニティ～
 25日 館祖祭・同窓会総会準備～善逝寺・吉舎生涯学習センター・三祖墓地ほか
 26日 館祖祭・同窓会総会～善逝寺・吉舎生涯学習センター
 当番幹事学年同期会(三次ロイヤルホテル)
 29日 館祖祭記念剣道大会(日彰館高校体育館ほか)
 30日 日彰館高等学校教育振興協議会総会(日彰館高校)
 5月19日 台湾国立苗栗高級中学より生徒32名と国際交流(日彰館高校)。校長・教諭ら記念館訪問
 6月13日 世羅支部総会(エレガント)～春田副会長、雲井事務局長出席～
 19日 三役会議(奥記念館)
 27日 日彰館高校 日高祭(～28日)
 館祖祭平成27年度当番幹事から次期当番幹事への引き継ぎ会(奥記念館)
 29日 同窓会ホームページ委員会(奥記念館～春田副会長・畑中理事・雲井事務局長)
 7月9日 館祖祭次期当番幹事会(昭和59年卒)～中原コミュニティ～
 10日 同窓会会長塚本和順氏(昭和29卒)逝去
 13日 同窓会会長塚本和順氏(昭和29卒)密葬(正興寺)
 25日 日彰館サングリーンイベント～三次サングリーン～
 28日 「吉舎お・も・て・な・し会議」第1回会議(日彰館高校)
 8月15日 日彰館高校昭和50年卒業生同窓会(三次グランドホテル)
 日彰館高校昭和54年卒業生同窓会(グランラセーレ三次)
 21日 日彰館高校オープンスクール(参加数約200名)
 27日 「吉舎お・も・て・な・し会議」第2回会議(日彰館高校)
 9月10日 同窓会会長塚本和順氏(昭和29卒)本葬(敷地コミュニティセンター)
 12日 久保昇(昭和34卒)・石田涇源 愛と匠の二人展(美術館あーとあい・きさ)～10月4日
 26日 体育祭(日彰館高校)
 10月15日 「吉舎お・も・て・な・し会議」第3回会議(日彰館高校)

- 16日 館祖祭次期当番幹事会(昭59年卒)～三次市生涯学習センター～
- 17日 東京支部東京馬洗会支部総会(東京霞ヶ関)～春田会長代行・雲井事務局長・吉田校長出席～
- 22日 日彰館高等学校教育振興協議会臨時総会(日彰館高校)
- 28日 日彰館高校文化週間(～11月7日)
- 11月7日「吉舎お・も・て・な・し」プラン～広島大学留学生～8日
- 15日 広島支部総会(ホテルセンチュリー21広島)～雲井事務局長・吉田校長出席～
- 27日 三役会議(奥記念館)
- 28日 吉舎町内同窓会報発送作業(日彰館高校)
- 12月23日 第10回プラス・クリスマスコンサート(日彰館高校他近隣中学校・高等学校吹奏楽演奏会)～三次市民ホール きりり～
- 1月14日「吉舎お・も・て・な・し会議」第4回会議(日彰館高校)
- 15日 新春百人一首かるた大会・新春茶会(日彰館高校)
- 2月1日 館祖祭次期当番幹事会(昭59年卒)～三次市生涯学習センター～
- 17日 三役会議(奥記念館)
- 29日 同窓会入会式(日彰館高校)～春田会長代行・雲井事務局長～

- 3月1日 第47回卒業証書授与式
卒業生担任慰労会～グランラサーレ三次～
- 11日 館祖祭次期当番幹事会(昭59年卒)～タピア～
- 12日 役員総会(三次広域商工会吉舎支所)
- 15日「吉舎お・も・て・な・し会議」第5回会議(日彰館高校)
- 4月2日 館祖祭・同窓会総会予告看板掲示(毘沙門橋付近、上下分かれ)
- 7日 第48回入学式(日彰館高校体育館)
- 9日 善逝寺事前挨拶(次期当番幹事伊藤実行委員長)
- 11日 新入生72名記念館来館
- 13日 広島県日彰館同窓会会計監査(奥記念館)
館祖祭次期当番幹事会(昭59年卒)～三次市生涯学習センター～
- 23日 館祖祭・同窓会総会準備～善逝寺・吉舎生涯学習センター・三祖墓地ほか
- 24日 館祖祭・同窓会総会～善逝寺・吉舎生涯学習センター
当番幹事学年(昭和59年卒)同期会(三次ワイナリー)
- 27日 日彰館高等学校教育振興協議会総会(日彰館高校)
- 29日 館祖祭記念剣道大会(日彰館高校体育館ほか)

■第1号議案 平成27年度会計決算

①一般会計決算

(収入の部)

項 目	予算額	決算額	付 記
繰 越 金	838,320円	838,320円	
会 費	1,000,000円	705,000円	
(一 般 分)		325,000円	45名
(生 徒 分)		380,000円	平成27年度卒業生76名
雑 収 入	250,000円	362,510円	
(協 力 金)		213,500円	46件
(そ の 他)		149,010円	館祖祭御供・CD・本代等
利 子	680円	279円	ゆうちょ(274円)、広銀(5円)
繰 入 金	300,000円	300,000円	積立金取崩
	100,000円	100,000円	同窓会運営基金(120周年特別会計より)
合 計	2,489,000円	2,306,109円	

②特別会計決算

1. 特別積立金	12,513,481円
ゆうちょ銀行定額	1,885,000円
定額	300,000円
定額	77,000円
両備信用組合定期	1,011,733円
広島銀行 定期	5,118,006円
定期	4,121,742円
2. 館報積立金	1,006,390円
ゆうちょ銀行定額	300,000円
定額	201,000円
両備信用組合定期	201,956円
定期	303,434円

合 計 13,519,871円

(支出の部)

項 目	予算額	決算額	付 記
会 議 費	30,000円	25,000円	総会資料作製、役員会等
行 事 費	70,000円	36,400円	総会写真等
慶 弔 費	25,000円	62,400円	塚本会長葬儀
卒業記念品費	35,000円	32,832円	卒業証書筒
旅 費	250,000円	115,710円	東京支部総会等旅費
生徒活動助成費	100,000円	98,822円	全国総合文化祭茨城大会(写真部門)
通 信 費	400,000円	469,429円	電話代、インターネット代、郵便・宅配便送料等
印 刷 費	600,000円	670,659円	会報・払込票等各種印刷
事務手当費	600,000円	600,000円	事務局手当
雑 費	200,000円	72,546円	支部総会祝金等
館報積立金	0円	0円	積立停止中
特別積立金	0円	0円	積立停止中
事務用品費	40,000円	4,814円	用紙、プリンターインク
予 備 費	109,000円	0円	
転退職記念品費	30,000円	11,000円	銭別
次年度繰越金	0円	106,497円	
合 計	2,489,000円	2,306,109円	

③平成27年度創立120周年記念事業特別会計決算報告 (収入の部)

項 目	予算額	決算額	付 記
繰 越 金	5,067,395円	5,067,395円	
利 子	105円	143円	ゆうちょ預金
立替金戻入	500,000円	1,000,000円	日影館高校空調工事費 PTA負担金立替金150 万円の内、平成27年分 戻入
合 計	5,567,500円	6,067,538円	

(支出の部)

項 目	予算額	決算額	付 記
教育振興助成費	300,000円	300,000円	日影館高校教育振興助成
奥記念館整備費	100,000円	34,350円	記念館整備
同窓会運営基金	100,000円	100,000円	同窓会一般会計助成
予 備 費	82,500円	0円	
特別会計積立金	4,985,000円	5,633,188円	次年度繰越金
合 計	5,567,500円	6,067,538円	

監 査 報 告 書

次のとおり、監査を実施したので、報告します。

1. 日 時 平成28年4月13日(水) 13時30分～
2. 場 所 日影館高等学校 奥記念館1階 会議室
3. 監査内容 平成27年4月1日より平成28年3月31日に至る一般会計並びに特別会計、創立120周年記念事業特別会計について、正確かつ適正に処理されており良好と認めます。

監事 山田 栄江^印 佐伯 豊^印
溝上 洋^印

■第2号議案 平成28年度予算(案)

①平成28年度一般会計予算(案)

(収入の部)

項 目	予算額
繰 越 金	106,497円
会 費	1,000,000円
(一般分)	
(生徒分)	
雑 収 入	250,000円
(協力金)	
(その他)	
利 子	503円
積立金取崩	1,100,000円
同窓会基金繰入金	100,000円
合 計	2,557,000円

(支出の部)

項 目	予算額
会 議 費	30,000円
行 事 費	70,000円
慶 弔 費	25,000円
卒業記念品費	36,000円
旅 費	250,000円
生徒活動助成費	100,000円
通 信 費	450,000円
印 刷 費	650,000円
事務手当費	600,000円
雑 費	150,000円
事務用品費	40,000円
予 備 費	126,000円
転退職記念品費	30,000円
次年度繰越金	0円
合 計	2,557,000円

②平成28年度特別会計予算(案)

1. 特別積立金 12,513,481円
 2. 館報積立金 1,006,390円
- 合計 13,519,871円

うち特別積立金取り崩し 1,100,000円を一般会計へ
差引 12,419,871円

③平成28年度創立120周年記念事業 特別会計予算(案)

(収入の部)

項 目	予算額	付 記
繰 越 金	5,633,188円	
立替金戻入	500,000円	空調工事日影館高校PTA負担立替金 残金50万円戻入れ
利 子	112円	
合 計	6,133,300円	

(支出の部)

項 目	予算額	付 記
教育振興助成費	300,000円	日影館高校教育振興助成
奥記念館整備費	500,000円	奥記念館収蔵品修繕等
同窓会運営基金	100,000円	同窓会一般会計助成
予 備 費	82,300円	
特別会計積立金	5,151,000円	次年度繰越金
合 計	6,133,300円	

■第3号議案 役員改選(案)について

1. 本部役員改選について

会 長 春田佳伯(昭40年卒) 吉舎支部

副 会 長 小川照三(昭32年卒) 世羅支部

副 会 長 高橋憲史(昭32年卒) 庄原支部

副 会 長 奥田節子(昭35年卒) 吉舎支部

副 会 長 千崎 一郎(昭49年卒) 三次支部

副 会 長 林 千祐(昭50年卒) 三良坂支部

第10条 [顧問] 本会に、顧問を置く。

顧 問 湯免龍夫(昭30年卒) 三良坂支部

顧 問 平田克明(昭33年卒) 三次支部

顧 問 久保 昇(昭34年卒) 三次支部

顧 問 安井雅彦(昭36年卒) 吉舎支部

2. 理事・評議員交代について

・退任

常任理事 黒瀬哲明(昭41卒) 吉舎支部

常任理事 田原和彦(昭45卒) 吉舎支部

常任理事 立石雅哉(昭29卒) 三良坂支部

理 事 大井博康(昭30卒) 福山支部

評 議 員 権畑健三(昭40卒) 三良坂支部

・就任

常任理事 淀 弘之(昭45卒) 吉舎支部

理 事 坂井 敬(昭40卒) 福山支部

理 事 佐々木一登(昭44卒) 吉舎支部

理 事 和泉唯信(昭58卒) 三次支部

理 事 藤井憲一郎(昭61卒) 三良坂支部

評 議 員 熊原 保(昭48卒) 庄原支部

評 議 員 出羽一則(昭50卒) 三良坂支部

3. 上記以外の理事・評議員役員の選任については、留任とする。

■承認事項

1. 日影館高等学校創立120周年記念事業について

①奥記念館整備事業について

ア. 奥記念館収蔵品(扁額)の修繕等

平成 28 年度館祖祭を終えて

実行委員長 伊 藤 雅 啓

30数年前に日彰館高校を卒業し、県北の地を離れてからは高校時代を思い出す余裕もない生活でした。しかし15年前に帰郷してからは徐々に当時のネットワークも再開し、母校を改めて意識するようになりました。

50歳になる卒業生が館祖祭の当番幹事というのは実はよく考えられているのかもしれませんが。色々な意味でちょうどよい年代が設定されていると感じました。ただ当時私は「カンソサイ?それってどんな字を書くの?」という程度の認識でした。

そして昨年「館祖祭」に参加させていただき、このようなセレモニーが連綿と続いていることに驚き、若葉に風薫る善逝寺の美しさに感動を覚えました。その後、実行委員長を拝命しましたが、まさに名ばかりでございまして、実働してくれた事務局・実行委員の皆さん、そして雲井同窓会事務局長のおかげでどうにか形にさせていただき、深く感謝を申し上げます。

近年、わが母校は県北の少子高齢化に伴い生徒数も減少し、あまり景気のいい話は聞きません。その中で同窓会総会で演奏してくれた日彰館高校吹奏楽部の皆さんには感激いたしました。私たちの世代であれほどの吹奏楽部があることを知っている者は少ないかと思います。後輩たち(親子の年齢差ですが)を、そして過去ではなく現在の母校を誇らしく思いました。

また次期館祖祭の実行委員の皆様、御参加ありがとうございました。伝統を盲信するものではありませんが、

これは大切にしたい伝統ではないでしょうか。皆様も無事に次期の方々に引き継いでいただけるよう願っております。

最後になりましたが、日彰館高校に繋がる全ての方の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

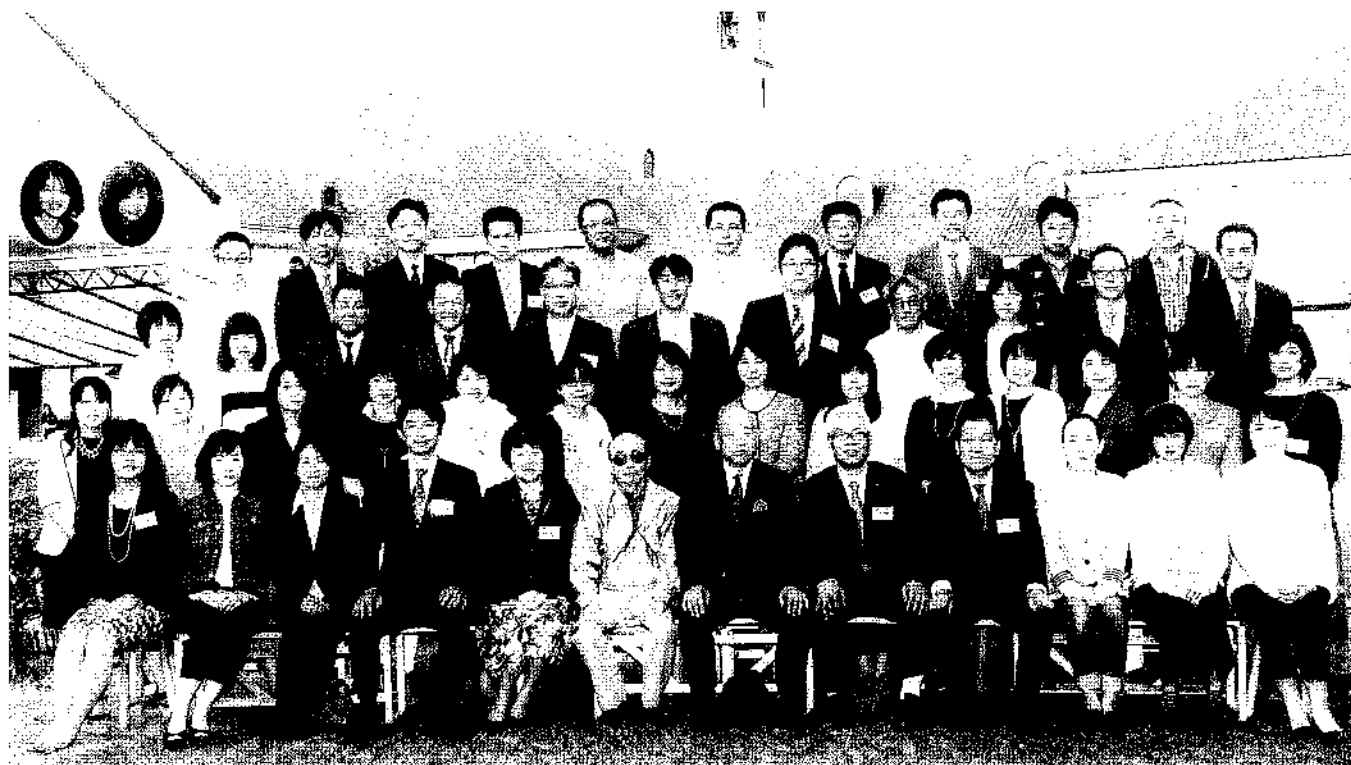
館祖祭を終えて

事務局 樫 吉 彦

「とうとう私たちは当番幹事の歳になったんだな…」

諸先輩方から伺っていたので、ビックリはしませんでした。が、次期幹事として参加させていただいた平成27年度の館祖祭、同窓会で私たちはとてつもない重圧を感じました。それは、県内はもとより遠方から駆けつけられた大先輩であるOBの方々や奥館祖をはじめ日彰館創設にご尽力された方々のご遺族やご来賓をお招きしての「館祖祭」「同窓会総会」に失敗は許されないというものでした。

思い起こせば、平成26年の年末に直近の先輩から「次期幹事」として参加するようにお話がありました。不安を感じた私は親しい友人に声をかけ、更にその友人が声をかけ、気がつけば平成27年度の館祖祭に「次期幹事」として15人が参加しました。最終的に、これがよかったのだと思います。前日の掃除や会場準備から当日の流れまで、誰かがどこかの部署を見ていたので、今年の本番では詳細な指示書や説明がなくてもそれぞれがリーダーとして動けたのです。私は事務局として資料作りや備品の準備をしてまいりましたが、伊藤実行委員長を先頭に



平成28年度 館祖祭当番幹事(昭和59年3月卒)

実行委員(最終的に)18人がストレスなく館祖祭を何度も経験しているかのようにスムーズに進行できました。そして何より前日、当日に駆けつけてくれた同級生の皆さんに感謝申し上げます。今後、年々卒業生が減少していくなかで後輩の皆さんは大変だと思いますが、日彰館の卒業生であることに誇りをもち、母校の今後を考える機会とし、館祖祭を引き継いでほしいと思います。

館祖祭を終えて

当番幹事 新 見 文 章

生涯一度の廻りあわせとなる、平成28年度館祖祭の当番幹事を務めさせていただき光栄でした。ありがとうございました。

三次中学校出身ではほぼ帰宅部であった私が、「館祖祭」という言葉に出会ったのは、3年前の同級生との飲み会であったと思います。

しかしながら随分先でやたら集まっている同期生との取り組みであり、不安に思わなかったように思います。

時は流れ、平成27年度館祖祭の事務局であった真野先輩より「次期当番幹事」として声を掛けていただき覚悟を新たにしておりましたが、館祖祭後の当番幹事飲み会後には、不安はなくなっていました。改めて、このメンバーであれば問題なく責任を全うできるという安心感がありました。

そして「館祖祭」も近づき、私が受け持った司会・進行について自分なりに準備することを始めますと、「母校 日彰館」についての無知を痛感、図書館にて「私学 日彰館」を借り受け、具体的な引用等イメージを作っていました。

既に時もなく、漫画を教科書とした知識でしたので及第な司会・進行であったかどうか心配ではありますが、笑って許していただければ幸いです。

最後に館祖祭を終え、日彰館の歴史や奥館祖をはじめとする先進的な先生方、それを支えた方々、多くの先輩方について想いを馳せ、「館祖祭」「日彰館」がより良く続いていくことを願い、自らに応じた責任を果たしていきたいと思います。

館祖祭を終えて

当番幹事 下 岡 芳 彦

私が就職した時、職場の上司が今年は日彰館館祖祭の幹事があると言っておられました。当時、私から見た50歳は随分先のことだなと思ったものです。

その後、結婚し3人の子供を授かり、奇しくも3人目の子供が現在本校の3年生であり、当時私が在籍していました剣道部で頑張っている姿を見て、喜びを感じていたところ50歳を迎え、幹事を務めさせていただくことな

り、不思議な縁を感じているところです。

幹事を務めるに当たり、昨年の館祖祭を見学させていただき、改めて奥愛次郎先生の思い、また卒業生の業績、日彰館の歴史を痛感させられ、自分も日彰館の卒業生であることの誇りを感じました。

その思いを胸に、館祖祭の準備に取り組みました。準備が進むに連れ、実行委員長長の伊藤君、事務局の中心となった樫君のリーダーシップ、同期の母校愛、取り組みの姿勢、皆の能力の高さに助けられ無事務めることができ安堵しています。

今年度は私も日彰館PTA会長となり、微力ではありますが、日彰館を盛り上げ、一人でも多くの高校生活を充実した卒業生を送りだし、母校へ恩返しができればと考えております。

今回の館祖祭に関わっていただいた全ての方へお礼を申し上げます。ありがとうございました。

つながり

当番幹事 水 野 真理子

一年前、まだまだ遠いと思っていた五十歳を迎え、館祖祭の実行委員として準備することとなりました。

忙しい中、集まるのは大変でしたが、それを理由に同級生に会うのは、楽しみでもありました。事務的な事や段取りは、ほとんど樫くん任せでしたが、皆がそれぞれ忙しい仕事の中、できる事を分担して準備し、当口を迎える事ができました。

前日準備だけでもと参加してくれた人もおり、当日も実行委員だけでなく、参加した皆がそれぞれ責任を持って動いてくれたおかげでとてもスムーズに無事館祖祭を終了。そのパワーに感動しました。

その後の同期会は、皆、白髪やしわが増え、いい年になっていましたが、会えば気分は学生時代へ。先生方も来てくださって、とても盛り上がり楽しい時間を過ごす事ができました。

うまくいくか、はらはら、どきどきの一日でしたが、館祖祭のおかげでこうしてOBの先輩方、吹奏楽で参加してくれた在校生、そして、何より同級生とのつながりを感じる事ができました。また、一つの事を皆で成し遂げる事により、達成感とともにつながりがより深まったように思います。

このようなつながりを作ってくれた館祖祭に感謝し、これからも末永くこの館祖祭が、日彰館の歴史が続く事を祈っています。

支 部 だ よ り

東 京 支 部

平成27年度東京支部 総会・懇親会報告

支部長(昭和40年卒) 杭 迫 重 臣

平成27年度の東京支部(東京馬洗会)総会並びに懇親会は10月17日(土)午後1時から東京・霞が関ビル35階、東海大学校友会館・富士の間にて開催されました。多忙な中にもかかわらず各方面からのご来賓の皆様のご臨席を賜り、旧交を温め、絆を深め、盛会の内に終了しました。関係者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

当日は、冒頭、塚本和順同窓会本部会長などこの1年間でお亡くなりになられた物故者の皆様のご冥福をお祈りして黙祷を捧げました。来賓として春田同窓会本部会長代行、雲井事務局長、吉田日彰館高校校長、高岡三次市副市長、吉宮世羅高校東京校友会会長、奥田世羅町長、中村世羅町議会議員のご臨席を賜り、高校や同窓会や県北の近況などをご報告いただきました。参加者は約1年振りに聞く近況とあって真剣に耳を傾けておられました。

今回はサプライズもありました。多忙を極めておられ、当初はご欠席の予定でありました奥田小由女日展理事長が開会直前にお越しになり、多くの出席者の皆様と久々の再会を祝し、益々のご活躍のエールが送られました。

一方、懸案となっていました本会活動のための運営協力金制度の新設についての提案が行われ、満場一致で承認されました。厳しい生活環境が続く中での苦渋の決断でございますが、会員各位のご理解ご協力を得ながら一歩ずつ前進して参る所存でございます。

お酒も進み、懇親会が盛り上がる中、恒例のビンゴゲーム。「ビンゴ」の発声と共に随所で歓声が響き渡り、楽しいひと時を過ごしました。関係各方面から多数のご協賛をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。最後は集合写真の撮影と校歌斉唱、明年(10月15日開催予定)の再会を約し、閉会となりました。

引き続き二次会、春田会長代行、雲井事務局長、吉田校長もご出席いただき、大いに盛り上がり、午後5時過ぎ盛況な中での散会となりました。



東京馬洗会 第3回 観桜会を開催

報告(昭和40年卒) 杭 迫 重 臣

平成28年4月5日(火曜日)、東京・上野公園にて第3回観桜会を開催しました。

今年の関東地方の桜の開花は暖冬の影響もあり早く、3月下旬早々に開花。当初、開催の頃には「もう散っているのでは」と心配しましたが、予想に反して開花後は寒い日が続き、当日は絶景の観桜日和となりました。公園内は中国、東南アジアそして世界各国からの観光客に押され気味で、日本人の肩身は狭く、時の流れと変化を痛感させられました。

会場は昨年同様、上野精養軒直営の「3153」店で総勢23名の方々が参加されました。昭和32年卒業の間真良様のご挨拶と乾杯の音頭でスタート、昼食を挟み、旧交を温めました。

昨年10月の東京支部総会・懇親会以来の再会の方々も多く、世代を越えて、随所で「乾杯!」「久しぶり!」「元気だった!」そして故郷や高校時代の思い出話など、和やかな歓談が続き、終盤は昭和30年代卒業の方々を中心に近況をご報告いただき、午後2時過ぎ、再会を約し、一本締めで閉会しました。その後は同期の方々など相携えて西郷隆盛の銅像や桜見物そしてアメ横へと足を運ばれました。

それにしましても昼時にもかかわらず、世代を超えてアルコールが進むこと進むこと、やはり広島県人は酒豪揃いなんですね。驚きました。

末筆となりますが、今年も上野精養軒にご勤務されています昭和54年卒業の清田祐司様に大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

来年の第4回観桜会は4月3日(月曜日)、今年と同じ会場で開催すべく準備を進めてまいります。お問い合わせの上、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



東京馬洗会 第4回懇親ゴルフ会を開催

報告 杭 迫 重 臣

平成27年11月27日(金)、東京馬洗会有志の皆様の参加による第4回懇親ゴルフ会が開催されました。開催コースは千葉県市原市の姉ヶ崎カントリー倶楽部東コース。参加者は開催直前になって複数の方々に緊

急の所用が出来たため50代から70代までの幅広い世代からご参加いただき2組にての開催となりました。

同倶楽部東コースはかつては男子の日本オープンが開催されたこともある難コースですが、当日は絶好のゴルフ日和となり、日頃の実力をいかに発揮しました。が、天候とスコアが相似しないのがゴルフです。グロススコアが二桁をキープできたのは3選手のみでした。

新ベリア方式で実施、結果は参加者の中で最も若い50代の眞野積様(昭和53年卒)が4番アイアンで230ヤードという驚異の飛距離を随所で活用され、OUT50、IN44、GROSS94、HDCPI8.0、NET76.0で優勝の栄に浴されました。なお、ベストグロスは眞野様を1ストローク上回る93で報告者の杭迫が獲得しました。

プレー終了後、表彰式並びに懇親会。難コースからやっと解放されたこともあって、和気あいの懇親会となりました。

広島ブランドショップ(TAU)から取り寄せた広島産品の各種賞品に加え、秋山律様(昭和35年卒)や初めて参加いただいた立花茂人様(昭和36年卒)から過分なご協賛をいただき、全員が両手に沢山の賞品を抱え、来年の開催を約し、我が家に向かいました。

藍綬褒章を受章(喜びの言葉)

報告(昭和28年卒) 山下昌江(旧姓・早川)

平成27年秋の褒章で、藍綬褒章を受章いたしました。(元明るい選挙推進協議会副会長)多年に亘り継続して活動をした事が認められ、心からうれしく思っています。

私は、昭和57年4月「明るい選挙推進委員」を委嘱され、選挙投票日には投票所の立ち合いをしておりました。

平成12年3月に退任、その後「明るい選挙推進協議会」委員を務めました。

平成15年4月、同協議会副会長を務めました。

平成26年3月、同協議会を退会をいたしました。

平成27年3月に高市早苗総務大臣の表彰を、いただきました。「あなたは第47回衆議院議員選挙におい

て明るい選挙推進に尽力され、その功績は顕著であります。よってここに表彰します」。

平成27年11月4日、東京都庁において藍綬褒章伝達式があり、舩添東京都知事より褒章と賞状「日本國天皇は山下昌江に多年明るい選挙の推進に寄与したことについて藍綬褒章を授与する」をいただきました。

平成27年11月13日、当日は天気晴朗、主人と一緒に東京都千代田区平河町にあります全国都道府県会館に集合をし、褒章を礼服に着け、迎いのバスで皇居坂下門を通り宮中に入りました。豊明殿で天皇陛下に拝謁し、お言葉を賜り感無量でした。

長きに亘り活動出来ましたのは、私自身が健康で、主人始め家族全員健康で過ごせた事、改めて「健康」に感謝しています。

同窓の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

祝！世羅高等学校 高校駅伝アベック優勝

報告(昭和40年卒) 杭迫 重臣

わが母校にも…

世羅高校東京校友会の皆様とのご縁で、当日は午前10時頃から西京極陸上競技場で応援。故郷からも多くの皆さんが駆け付けられ、スタンドは熱気に包まれました。

まずは女子の応援、アンカーで4位から大逆転した向井選手の力走に感激、続いて連覇が当然視されていた男子、他チームを寄せ付けない圧勝。長い高校駅伝の歴史で、一度にこれほど多くの金字塔が建てられたのは初めて、正に「快挙！」の一語に尽きます。

終了後、応援のお礼にスタンド前に集まった選手達を見て、華奢なのにあの脚力は何処から？不思議です。エネルギーを貰い、世羅高校の名と広島の底力が全国に響き渡り、生涯忘れられない涙と感動の一日となりました。

スタンドでは校友会OBの多くの皆様から「杭迫さんが応援に来ていただいたお陰です」とのお言葉をいただきました。「いえいえ」と言いながらも「こんな日にこの場に居合わせた私は、幸せ者かな？」と、独り言。

我が母校、日彰館高校にもこうした日が来ることに思いを馳せながら。

広 島 支 部

平成27年度日彰館同窓会広島支部総会

広島支部長(昭和45年卒) 折出 幸二

平成27年度日彰館同窓会広島支部総会を平成27年11月15日(日)、ホテルセンチュリー21広島にて、開催いたしました。

本部から雲井一浩事務局長、学校から吉田富志雄校長が出席されました。各テーブルでは近況を語りながら、懐かしい高校時代の話題にも花が咲きました。恒例のビンゴゲームも楽しみました。また、吉田校長先生の名進行で、書道部揮毫の色紙提供もあり、後輩たちの頑張りに対し、暖かい協賛を出費される会員もあり、大変盛り上がりしました。

広島支部では若い年代の同窓生会員の参加を募っています。皆さん誘い合ってご参加ください。

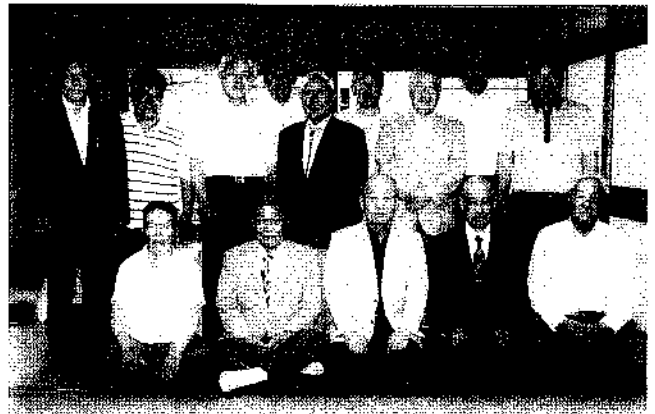


世 羅 支 部

日彰館同窓会世羅支部総会

日彰館同窓会 世羅支部総会 平成27年6月25日(土)

	出席者	卒業			出席者	卒業
1	春田 佳伯	40	本部副会長	9	紙谷 昭司	36
2	雲井 一浩	54	本部事務局長	10	升本 征生	39
3	小川 照三	32	本部副会長	11	時永 益徳	40
4	藤谷 征壮	33	世羅支部長	12	小林 貞夫	41
5	中村 幸雄	43	支部事務長	13	藤原 正	41
6	近藤 康雄	50	本部理事	14	久保 正道	43
7	大原 俊明	25		15	奥田 正和	56
8	前大道德昭	30				



ク ラ ス 会 だ よ り

昭和50年卒

日彰館高等学校同期会 開催

幹事 福永 清三

県立日彰館高等学校
昭和50年卒第四同期会

平成27年8月15日、三ツ口イoyalホテルにて昭和50年卒業の同期会を開催しました。参加者は、35人と見込みより少ない人数でしたが、5年ぶりの再会で変わらぬ元気さを讀みあいました。

恩師である塚本先生の急逝の報を受け、参加者全員で黙とうを行いました。ご冥福をお祈りいたします。

私たち同期会は、5年ごとに開催していますが、卒業して40年が過ぎ、皆60歳に届く年齢になりました。月日が経つのは早いものです。今回、初めて参加してくれた人もあり、顔と名前が一致しません。(笑)お世話になった先生の話、クラブ活動、今回来なかった人の消息、すでに他界した人の思い出など話は尽きません。

「過ぎし日を 語り合う日の 同期かな」

次の元気な再会を誓い散会しました。

日彰館高校昭和54年卒業生同窓会

幹事 永島 一秀 雲井 一浩 杉野 誠

中本 定夫 新田(柳原)文子 免田(下井)佳代

平成27年8月15日(土)、グランラッセ三次会場に昭和54年卒業生同窓会を開催しました。1組から順番に幹事となって、今回は5組で第5回目と回を重ねてきました。

私たち幹事は、次の節目となる60歳での同窓会開催へとつなぐことを重要なテーマと位置づけて取り組みました。新しい住所の把握にも苦労しました。返信はがきには、「みんなに会いたいなあ。けど、都合が…。60歳の同窓会にはぜひ参加します。」など、近況では、子どものこと、親の介護のこと、仕事のことと、メッセージを添えてくれました。とくに、海外で生活している人にも手紙を送り、Eメールで「こちらで元気にしています。60歳には帰国できるようにしたい。」という返信があった時は、幹事一同感激しました。当日参加者には、欠席者のメッセージを冊子にして渡しました。

毎回恩師のひとりとして参加していただいていた塚本先生ですが、平成27年7月10日に急逝されました。参加したクラスメートの中には初めて知った者もいて、全員で黙とうしました。

55歳というひとつの区切りですが、若い頃の容貌や風貌が少しずつ変わってきています…笑い。しかし、こうして集まれば、気分は高校生です。思い出話に花が咲きました。次の開催は6組が幹事です。この会報を読んでくれている同期生はぜひぜひ60歳で会いましょう。よろしくお願いします。



平成27年度 会費納入一覧 (1口:5,000円)

No	卒業年	名 前	口数	合計口数
1	昭33	西 本 忠 教	追 2	18
2	昭43	中 村 幸 雄	追 2	18
3	昭40	杭 迫 重 臣	追 2	8
4	昭47	中 本 政 男	追 1	8
5	昭41	高 杉 悟 郎	追 2	5
6	昭52	吉 田 富 志 雄	追 1	2
7	昭61	塚 本 俊 昭	追 2	3
8	昭18	松 田 秋 天	追 1	4
9	昭20	矢吹(桐尾)文子	追 2	3
10	昭24	丸 山 吉 郎	追 2	9
11	昭41	片 山 巖	追 1	14
12	昭33	塚 本 昌 訓	追 2	19
13	昭26	繁 高 藤 子	追 2	14
14	昭27	野 曾 原 智 海	追 2	8
15	昭25	中原(橋本)秋二	追 1	19
16	昭20	湯 浅 (谷 口) 光 子	追 1	5
17	昭24	宮 崎 敬 介	追 1	3
18	昭29	岸 明 宏	追 1	3
19	昭39	中田(沼田)範子	追 1	10
20	昭55	大塚(石田)久美	追 1	2
21	昭35	坂 川 明 邦	追 1	9
22	昭58	和 泉 唯 信	追 3	40
23	昭43	山 岡 徹 朗	追 1	1
24	昭33	黒田(桶田)勢津子	追 2	15
25	昭54	河 野 俊 彦	追 1	6
26	平27	中 元 洗 太	追 1	2
27	昭35	宮 川 征 二	追 1	4
28	昭39	明智(近藤)祥治	追 2	20
29	昭33	正 平 浩 文	追 2	24
30	昭52	細 谷 香	追 2	14
31	昭46	廣 岡 道 明	追 2	4
32	昭53	石 田 光 司 郎	追 1	3
33	昭24	前 原 久 夫	追 1	2
34	昭24	西 家 三 三	追 1	16
35	昭53	眞 野 積	追 1	14
36	昭23	藤岡(久保田)朝子	追 1	2
37	昭54	小 丸 幸 則	追 1	2
38	昭47	加 川 直 幸	追 2	3
39	昭47	栗原(菅)雅子	追 1	3
40	昭58	山 田 美 紀	追 1	2
41	昭41	加 藤 幸 信	追 1	
42	昭41	桑山(山口)直樹	追 1	7
43	昭27	原 田 忠 明	追 2	15
44	昭54	雲 井 一 浩	追 1	7
45	昭31	岸 弘 巳	追 2	6

平成27年度 本部運営協力金納入状況

No	卒業年	名 前	金額
1	昭33	西 本 忠 教	2,000 円
2		創立120周年世継支部有志	50,000 円
3	昭43	中 村 幸 雄	3,000 円
4	昭40	杭 迫 重 臣	3,000 円
5	昭20	瀧口(渡邊)盛三	2,000 円
6	昭27	原 田 忠 明	5,000 円
7		昭和58年卒業生	30,000 円
8	昭56	沖中(高場)幸子	3,000 円
9		木 信 丈 夫	1,000 円
10		広 田 優	5,000 円
11	昭20	矢吹(桐尾)文子	2,000 円
12	昭24	丸 山 吉 郎	1,000 円
13	昭41	片 山 巖	500 円
14	昭33	中 山 彰 夫	1,000 円
15	昭26	繁 高 藤 子	1,000 円
16	昭27	野 曾 原 智 海	2,000 円
17	昭25	中原(橋本)秋二	1,000 円
18	昭20	湯 浅 (谷 口) 光 子	5,000 円
19	昭24	宮 崎 敬 介	1,000 円
20	昭49	森山(青木)香澄子	2,000 円
21	昭39	中田(沼田)範子	1,000 円
22	昭55	大塚(石田)久美	1,000 円
23	昭42	樋渡(藤原)恵子	1,000 円
24	昭58	和 泉 唯 信	15,000 円
25	昭20	加 藤 幸 信	500 円
26	昭52	加 藤 昌 宏	500 円
27	昭38	村上(高橋)敏子	1,000 円
28	昭43	山 岡 徹 朗	1,000 円
29	昭33	黒田(桶田)勢津子	1,000 円
30	昭54	河 野 俊 彦	1,000 円
31	平27	中 元 洗 太	500 円
32	昭35	宮 川 征 二	1,000 円
33	昭52	細 谷 香	1,000 円
34	昭53	石 田 光 司 郎	1,000 円
35	昭24	西 家 三 三	3,000 円
36	昭57	平 田 敏 幸	500 円
37	昭53	眞 野 積	5,000 円
38	昭47	加 川 直 幸	20,000 円
39	昭41	加 藤 幸 信	1,000 円
40	昭46	平 野 公 章	2,000 円
41	昭41	桑山(山口)直樹	2,000 円
42		昭和54年卒業生	20,000 円
43	昭57	松 島 義 典	1,000 円
44	昭54	雲 井 一 浩	5,000 円
45	昭31	岸 弘 巳	2,000 円
46		岡部三八会 会長(本田尚志)	5,000 円

OB講演会

ようこそ先輩 ～後輩への熱いメッセージ～

第3回 平成28年5月7日 PTA総会 教育講演会

演題 「夢」を切り拓く

～里山人間主義の
出番です～

熊原 保

昭和48年卒業 庄原市在住
社会福祉法人優輝会理事長

母 校 だ よ り

新たな飛躍に向けて（近況報告）

平成28年4月吉日

本校は、創立120周年を機に「日彰館の歴史に学び、未来を拓く」をスローガンに掲げ、歴史と伝統を礎とした新たなステージへの飛躍に向けて、本校独自の教育条件を生かした特色ある教育活動の創造に取り組んでいるところです。その成果も徐々に目に見えるものとなりつつあり、本年度は、広島県が昨年度スタートした教育重点施策「広島版『学びの変革』アクション・プラン」を推進するパイロットハイスクールの指定を受けました。広島県教育をリードする授業研究が期待されており、備北地区の伝統校としてのステータスをより確かなものにしていきたいと考えています。一層の御支援と御協力をお願いいたします。

グローバル人材育成プログラム120

広島県教育委員会から、「学校経営計画対応事業」「果敢に挑戦する児童・生徒への支援事業」(26・27年度)「高校生によるわくわく事業」(26年度～)の指定を受け、グローバルな視野を持って、地域に貢献できる生徒の育成に向けた取組を進めています。地域とのつながりを強め教育基盤を強化するとともに、大学との連携を推進し、教育活動の質を高めています。

(1) 広島大学留学生との国際交流

広島大学留学生との国際交流は、同窓会を始め、PTA、地元中学校、地域団体等の協力をいただき、昨年度で2年目の実施となりました。第1学年のプログラム「吉舎おもてなしプランPart1」として、11月7・8日、広島大学短期交換留学プログラム(HUSA)の留学生22名を本校に招き、国際交流会やホームステイ受け入れ等を行いました。校訓「衆縁和合」に通じるホスピタリティマインドについて考えるとともに、世界に対する興味・関心を高める体験になっています。生徒の英語活用に対するモチベーションを高め、実用英語技能検定の合格率アップにつながっています。



第1回台湾講座 講師：上水流准教授



広島大学留学生との国際交流

(2) 台湾姉妹校との国際交流

台湾姉妹校との交流プログラム開発には、東アジア文化を専門とする県立広島大学の上水流准教授に加わっていただいています。

5月19日に、全校のプログラム「吉舎お・も・て・な・しプランPart2」として、一昨年度姉妹校提携した台湾国立苗栗(ミヤオリ)高級中学からの修学旅行生32名の訪問を受け、国際交流会を開催しました。

10月27～30日に第2学年のプログラム「台湾研修旅行」を実施しました。苗栗高級中学との交流会や本校卒業生で蓬莱米の研究で知られ「台湾農業の父」と評されている磯永吉先生の研究室(台湾大学に保存)訪問を行いました。



台湾研修旅行

(3) 生徒の知的好奇心を喚起する本物体験

～地域における文化の発信拠点として～

生徒に、「あなりたい!」「こうしたい!」という高い理想(上質イメージ)を持たせるための教育内容づくりに取り組んでおり、地元中学校や地域住民等にも案内するなど情報発信を進めています。

平成27年11月10日(火)陸上自衛隊第13音楽隊演奏会

(吹奏楽部と共演、吉舎中学生を招待)

平成28年1月15日(金)新春茶会・百人一首大会

(広島大学百人一首愛好会・吉舎中学校を招待)

平成28年2月19日(金)講演会

外務省伊勢志摩サミット・広島外相会談準備局次長 岡垣さとみ氏



サミット塾 講師：岡垣さとみ次長

一人一人の文武両道への取組

地域や地元中学校等からは、近年、学校が安定し、部活動の実績が表れている状況について一定の評価をいただいています。現在、運動部・文化部ともに部活動単位で地域貢献活動への参加を推進しており、地域と連携した活動を通して、リーダーシップや責任感、様々な立場を理解する力の育成等、生徒の人間形成を図る指導を進めているところです。特に昨年度は、部活動で3年間努力した生徒たちが、数多く目標の進路を実現し、後輩たちの自信と励みになっています。

〈平成27年度 部活動の主な成績〉

運動部、文化部ともに活躍がめざましく、3つの部活動において、全国大会出場を果たしました。早くも、本年度の全国大会出場を手にいれた部もあります。

野 球 部 夏の全国高校野球選手権広島県大会に2年連続3回戦に進出しました。

剣 道 部 第61回中国高等学校剣道選手権大会(島根大会)へ女子2名が出場。県新人剣道大会において、男子剣道形の部で3位入賞を果たしました。

吹 奏 楽 部 広島県高等学校吹奏楽コンクールに高校A部門で出場し、3年連続で銀賞を受賞しました。また、滋賀県で開催された「第39回全国高等学校総合文化祭」の広島県選抜チームに1名が推薦され、全国の舞台で演奏を行いました。高いステージでの挑戦を続け、県北の中学、高校の吹奏楽をリードしています。

書 道 部 第21回全日本高等学校書道コンクールで準部門賞受賞。第31回ふれあい書道展で筆都大賞、平成27年度広島県高等学校書道連盟席書大会で優秀賞、全国高校生書道S-1グランプリ個人創作の部でグランプリとまほろば賞を受賞しました。地域イベントへの参加要請も年々増え、存在感もますます高まっています。

美 術 部 第47回広島県高等学校写真展で1席、3席(2名)、4席(3名)、5席(1名)を受賞しました。28年度の全国大会へ3名が推薦されており、3年連続全国大会参加を勝ち取りました。

〈平成27年度 主な進路実績〉

○国公立大学3名合格
(26年度0名)

県立広島大学(健康科学)、
県立広島大学
(コミュニケーション障害)、
広島市立大学(国際)

○高等看護学校8名合格
(26年度3名)

広島県立三次看護専門学校(5)、
順正高等看護専門学校(看護)、
玉野総合医療専門学校(看護)
広島都市学園大学(看護)

○公務員8名合格(26年度0名)

広島県一般事務、広島県警察事務、
三次市役所、自衛官候補生、
自衛隊曹候補生、備北消防(3)

吉舎定住促進住宅日彰館高校借受宿舎の入居スタート

これまでも「日彰館で学びたいけど、通えない。寮がない。」という声を耳にしながら、なかなか手立てが出来ませんでしたが、この度、三次市や同窓会、保護者の方々のお力添えで、生徒の宿舎を確保することができました。今春、ピカピカの1年生3名が入居し、日彰館での新しい生活をスタートしました。引き続き、応援をよろしくお願いいたします。

編集後記

豪雨・地震・火山噴火など自然の猛威がたびたび襲ってきます。犠牲になられた方にはお悔やみ申し上げますと共に被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

私たちは自然環境の恩恵の中に生かされていますが、人間社会にあっては、奥館祖の「衆縁和合」の思想を大切にしたいと思えます。いつもお互いさまの気持ちで、ともに願い、寄り添い、歩むことを心がけていきましょう。

日本各地の同窓会の各支部では、新規の同窓生会員を募集しています。同窓会発展のためにも、会員相互の親睦交流を盛んにしていきたいと思えますので、会員様の地元の支部へのご参加を切望します。

同窓会本部からのお願い

1. 会費(1口 5,000円)を納入してください。
2. 会費(従来の終身会費)を既に納入されている方は、できるだけ増口をお願いします。
3. 本部運営協力金 500円以上の協力をお願いします。
4. 同封の払込取扱票をご利用ください。

※ 同窓会本部の運営活動は、皆様からの会費や協力金で支えられています。

同窓会報掲載の原稿を募集しています。

1. 各支部やクラス会等の様子
 2. 俳句や短歌など
 3. 在学時代の思い出写真やエピソードなど
- ※ 毎年6月末まで切ります。

〒729-4211 広島県三次市吉舎町吉舎 293-2 広島県日彰館同窓会事務局 TEL (0824) 43-2664

事務局長 雲井 一浩(昭和54年3月卒業) 携帯電話 090-9065-6742

(事務局は留守が多いので、携帯へご連絡くださいますようお願いいたします。)

●PC用 <http://nitsushoukan.com/> ●スマートフォン用 <http://nitsushoukan.com/sp/index.html>

●メールアドレス nikko-ds@p1.pionet.ne.jp

事務局

【平成27年度 教育活動の様子】



10月27日(火)～30日(金)、台湾研修旅行



6月6日(土)、「湯崎英彦の地域の宝チャレンジ・トーク」で、書道部が地域活動について報告



7月25日(土)、ショッピングセンター「サングリーン」において、学校紹介イベントを開催



第61回中国高等学校剣道選手権大会(島根大会)へ、今井和希さん、今村彩さんの2名が個人戦出場



9月2日(水) わくわくプロジェクトの一環として、全校で「中国やまなみシンポジウム」へ参加



夏の甲子園広島県予選、2年連続で3回戦に進出



百人一首大会



陸上自衛隊第13音楽隊演奏会



9月14日(日)、「爽・走・創」をテーマに体育祭を実施



6月27日(土)・28日(日)の2日間、「始動～新たに始まる最高の舞台～」をテーマに日高祭を開催



12月23日(水) クリスマスコンサート(きりり)